

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年12月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670400219
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループホーム わかば
所在地	鹿児島県枕崎市若葉町85番地 (電話) 0993-73-5101
自己評価作成日	平成29年10月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年11月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・地域の行事に参加したり、戸外で季節の行事に触れたり定期的に他施設や近隣の保育園とも積極的に交流している。また、ボランティアによるお話の会を毎月開催するなどして、地域との交流を大切にしている。
 ・気持ちの良い言葉での声かけ笑顔・笑い声のある心地よい環境作りを心がけている。自分の身内・家族のように接することで、我が家にいるような気持ちになって楽しく過ごしていただけるような、アットホームな生活環境づくりを大事にしたい。
 ・研修会等に参加し、情報収集に努め、サービスの質の向上に取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームを運営している医療法人と24時間の医療連携体制を構築し、隣接のシニアホームとは合同でのイベント実施等により日頃から協力関係を築いている。また、定期受診時の職員同行や日常の健康管理をスタッフの看護師が行うなど、健康・医療面の支援体制が整っている。
 ・自治会の一員として清掃活動や十五夜などの地域行事に参加したり、保育園児や他のグループホームとの定期的な交流を継続している。高校生の実習やボランティアを受け入れたり、住民が避難訓練に参加協力する等、地域との交流に積極的に取り組んでいる。
 ・家族と職員の交流会や家族へのアンケートを実施し、家族の要望等をサービスの向上に活かせるよう努めている。
 ・入居者は、ホールでぬり絵・新聞たたみ・ドリル・編み物等で過ごしたり、椅子にかけ静かにゆっくりとくつろいでおり、それぞれが穏やかに暮らしている。
 ・資格取得の助成を行って職員の質の向上を図ったり、調理職員の配置による負担軽減や個々の事情に応じた長期休暇取得などで離職防止に努めるなど、職場環境整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝理念を唱え、理念を意識しながら、日々のケアにあたっている。 	ホーム独自の理念を玄関・ホール・トイレに掲示し毎朝唱和し、理念に沿ったケアの実践に努めている。ミーティングで情報の共有やケアの振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・二三和祭にはチラシを配布し、呼びかけている。 ・自治会に加入し地域の行事に参加したり、保育園や他のグループホーム等との交流も行っている。 ・近隣の方に災害時の協力要請も行っている。 ・お話の会やクリスマス会等ボランティアの協力をもらっている。 	自治会に加入し地域の清掃や新年会・市民運動会・十五夜等に参加している。定期的に保育園児と交流したり、ボランティアによるお話会もあり地域と積極的なかかわりをしている。今年の避難訓練は、事前に協力を依頼し地域の方に参加してもらった。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議における民生委員や町内代表の出席により、理解してもらっている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・会議時、事業所の報告を行い、出席者より意見・質問・要望等を受け、ミーティングで検討しながら、サービスの向上に努めている。</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議を定期的で開催している。入居者状況・行事・ヒヤリハット・事故・外部評価の取り組み等を報告している。近隣住民や他グループホーム職員の参加も得て実施し、出された意見はサービス向上に活かしている。事故防止など、ホームの日頃の取り組みについて理解を深めてもらう機会ともなっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>・運営推進会議や毎月の報告書等届ける際に実情を伝えたり、地域包括支援センターに相談したり、協力関係を築くように努めている。</p>	<p>毎月報告書の提出の際に出向き、入居者状況や運営などについて報告している。必要時、電話で相談アドバイスをもらっている。運営推進会議時に意見交換をしたり、便りを持参するなど、担当者と協力関係を築くように日頃から取り組んでいる。市の研修会は必ず参加して、情報等を得るように努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・勉強会にて身体拘束を理解し、普段より身体拘束はしないケアをしようと努力し、身体拘束は行っていない。玄関は施錠せず、センサーにて見守りを行っている。</p>	<p>年に1回勉強会を実施し身体拘束をしないケアについて理解を深めている。玄関の施錠はせず外に出て行く利用者には付き添うなど、職員の見守りで制限のない生活ができるよう取り組んでいる。夜間は、センサーを設置し安全確保に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・虐待について勉強会を行い、虐待のないケアの実践に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・日常生活自立支援事業や成年後見制度について勉強会を行って、必要に応じて活用できるように努力している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・契約時や改定時も必ず個別に説明を行い、同意を得られるように努力し、同意書を取っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・玄関にアンケート・苦情相談ポストを設けている。また、行事や面会時に利用者・家族の意見を把握しながら、反映させるようにしている。年に1回アンケートを送付している。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で要望や意見を聞くようにしている。家族からは運営推進会議や職員との交流会で意見等を出してもらったり、面会時に声かけをしたり、年に1回のアンケートで要望等を聞き、対応している。苦情相談機関を掲示し外部へ相談できるようにもしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・毎月のミーティングを利用したり、個人面談にて意見や提案を聞き、反映させている。</p>	<p>ミーティングで、理事長・管理者が職員の意見等を聞いたり、個人面談を実施し、提案等を反映するよう努めている。個別相談は日常的に管理者が受けて対応している。申し送りやミーティングで入居者の支援についてや行事・介護用品・備品等の購入や要望・意見を聞いている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・個人用目標シートや出来る職員の行動シートを用いて、やりがい・向上心をもてるように、6月と11月に個人面談を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・法人全体の研修会や外部からの研修案内を活かし、できるだけ全員がいろんな研修に参加できるように努めている。 ・必ず年1回は外部の研修に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・近隣のグループホームとの交流会を定期的に行い、お互いに情報交換や相談などを行い、質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・本人と会話しながら、不安に思っている事や要望などを聞き、また家族からも情報を得るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・家族が困っていること・不安なこと・要望等を聞き、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人家族より情報を聞き、必要としている支援を見極め、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・声かけや見守りをしながら、一緒に掃除や洗濯物たたみ・茶碗洗い・お膳拭き・野菜の下ごしらえ等をして頂きながら関係づくりを築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族に現状報告し、本人と家族の意見を尊重し、家族が気軽に訪問でき、入居者と居心地の良い時間を過ごせるような雰囲気づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・馴染みの人が訪問して頂けるよう、気軽に訪問できる雰囲気に努めている。	知人・家族の面会が多く、家族と食事や美容室・ドライブなどの外出や外泊をしたり、職員が受診同行時に自宅付近をドライブするなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援し、編み物などの趣味等も継続できるようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・トラブルにならないよう常に席の配置を考慮している。雰囲気を大切にしながら、楽しい会話ができるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・入院先に状態を見に行ったり、相談員や家族に連絡して状態把握しながら支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・家族・本人との会話や行動から、思いや意向の把握に努めている。	日常の会話の中で本人の思いを聞いたり、思いや意向を表出しない利用者には、表情やレクリエーションで興味・関心事を引出し対応している。家族の情報も参考に利用者本位で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・基本情報シート、暮らしの情報シート・在宅時の担当ケアマネからの情報提供書等を活用し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・日常の状態を職員全員が把握し、申し送りを確実にするよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・本人・家族の意向などを尋ねながら、主治医・薬剤師・OT・PT・スタッフ等の意見を聞きながら、介護計画を作成している。	主治医や他職種・職員の意見を参考に本人・家族の要望等を入れた介護計画を作成している。毎月ミーティングを実施しケアの結果を評価している。毎月モニタリングを実施し、現状に即した計画になるよう年1回及び状況変化時に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・申し送り時のカンファレンスや申し送りノート・ミーティング・個別記録等を活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・本人家族の状況に応じて、できないことは職員が支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・保育園やお話の会、夏祭りや花見、ほぜ祭り等支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・協力病院にはスタッフが同伴し、他の医療機関には必要に応じてスタッフと家族で対応し、適切な医療が受けられるように支援している。また、必要に応じて、病院の相談員を介して相談も行っている。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関との24時間医療連携体制により適切な医療が受けられるようにしている。歯科・眼科等は、家族に付き添ってもらっている。ホームに看護師も勤務しており、安心して生活できている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・気づいたことは看護師に伝え受診したり、様子観察で良いか判断している。また、必要に応じて、主治医に電話で相談し、受診等を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院した時は状態観察に行き、病院関係者より情報を得ている。</p> <p>・退院時にも今後についての相談を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・入居時や入居途中で重度化した場合等についての考えを尋ねるように努めている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明し、家族の意向を聞いている。重度化及び状況変化時に家族の意向を確認しながら、本人の状態に応じ医師・看護師・管理者等で今後の対応を話し合い、意思確認をして取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・新しい入社職員にはAEDの使用方法の研修を行っている。また、アクシデント等があった際は全員でミーティングを行って、対応の仕方を検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回消防訓練を実施、その際地域の方も避難訓練に参加して頂いている。 ・自衛消防組織図を作成し、災害時に自分は何が担当か職員全員に周知徹底している。 	<p>年2回夜間想定で消防署立ち合いの避難訓練を実施しており、住民も参加協力している。自動通報装置に切り替える予定であり、自営消防組織図を作成するなど、防災対策に取り組んでいる。自分の役割を認識し利用者が安全に避難できるように徹底している。水やカップ麺・缶詰・菓子等の食料を備蓄し、カセットコンロ等も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いに関しては、職員の採用時に契約書を交わし、記録物は他者の目に触れないように保管している。 ・入居者への声かけには親しみもてる思いやりのある声かけをしている。 	<p>法人の研修や事業所独自の勉強会を実施している。さん付けでの呼びかけやさり気ないトイレ誘導時の声かけ等、言葉かけに配慮している。居室の内鍵を本人の希望で掛けるなど本人の思いを尊重している。人格を尊重しプライバシーを傷つけない言葉遣いや態度について、理解を深めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で入居者の好きなことを見つけたり、希望の把握に努めている。 		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのペースに合わせて、無理なく過ごして頂けるように支援している。 		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴後に着る衣類は本人に選んで頂いたり、各行事やイベントの際、家族が準備して下さったおしゃれ着を着用されるよう支援している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・個々に応じた食事形態や代替品を工夫し、行事食や誕生日会等食事に変化を持たせ、食べる楽しみに配慮して提供している。お盆拭きや茶碗洗い等個々の力を生かしている。</p>	<p>管理栄養士のアドバイスで専任の調理師が個々に応じた食事形態や介助をしている。利用者一人ひとりの力を活かして下ごしらえやお盆ふき、茶碗洗いなどを行い、職員と一緒に食事を摂っている。おやつ・誕生会・行事食・外食など、食べる楽しみにも工夫して取り組んでいる。誕生日は好みの献立を聞いている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・同法人内の管理栄養士にアドバイスをもらい献立を作っている。また食事量は毎日記録している。水分をこまめに摂っていただくよう、数回に分けて提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・毎食後声かけをしながら、口腔ケアを促している。義歯の方は、夜間毎日洗浄剤を使用し、清潔保持に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ誘導の時間を決めて声かけしたり、一人ひとりの排泄状況を把握し、失禁のないように自立にむけて支援を行っている。 	<p>排泄パターンを把握し、個々に応じて声かけや誘導を行ってトイレでの排泄を昼夜とも支援している。布パンツやリハビリパンツにパットを使用し、トイレ排泄が習慣化できるように支援している。食事の前後や表情・しぐさから判断しトイレ誘導している。失禁時は陰部洗浄やシャワー浴で清潔維持に努めている。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・水分をできるだけ多く摂って頂くために、色んな飲み物をこまめに提供している。便秘予防として運動の働きかけをしている。腹部マッサージやホットパックを行っている。 	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・週3回の入浴を基本としているが、スタッフの人数不足や、入居者様の熱発等の体調不良にて実施できていない面もあるが、できるだけ体調やタイミングに合わせて声かけを行い、個々に応じた支援をしている。 	<p>週3回午前中入浴を基本としており、同性介助や一人でゆったりと楽しんで入浴をしている。失禁時等は陰洗やシャワー浴で保清に努めている。入浴を嫌がる場合は、タイミングを見て声かけしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・昼間は、筋力低下防止のための椅子に腰掛け足上げや、血流を良くするための肩回しなど行っている。ラジオ体操も継続して行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員が服薬管理を行い、症状観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・洗濯物たたみ・お盆拭き・お誕生日会・イベント等を行い、保育園・ボランティアの方々、他施設との交流も図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・日常的な外出は職員の不足により実施できていないが、家族協力の下、外出が出来ている。	日常的には事業所周辺の散歩やベランダで外気浴をしている。地域や法人の行事に参加したり、年間行事で毎月戸外に出かける計画を立てて、初詣・花見・運動会・ドライブ等、家族の協力を得て個別にも出かけられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・お金の所持が困難な為、個別に家族より預かり、希望時に使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・遠くに住んでいる家族からの贈り物が届いた時は、本人自ら電話できるように支援している。また、一人での利用が困難な入居者に対し、個別に利用できるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・玄関やホールに飾り付けをし、季節感を取り入れ、冷暖房やカーテンなどをうまく利用し、不快が無いようにしている。</p>	<p>共用空間は天窓からの採光で明るく、室温等が適度に調節され、ベランダに出ることもでき外気浴・日光浴が楽しめる。室内のソファで思い思いにくつろいでいる。キッチン是对面型で会話もでき、居心地よく暮らしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・気の合う入居者同士や本人の希望等を考慮し定期的に席替えをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・本人や家族から聞いて馴染みのある物を持ち込んで頂き、心地よく生活できるよう支援している。また、毎日居室の清掃を実施し、清潔を維持している。</p>	<p>ベッドやタンスを備えた居室は、本人の必要や好みに応じて、衣装入れや毛布を持参したり時計や写真を置いて落ち着いて過ごせるようにしている。家族の写真や人形や壁掛けもあり、自分の作った作品も飾り自分好みの部屋に工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・建物内はバリアフリーになっており、歩行時の手すりを設置。トイレ・洗面所・風呂場がわかるように表示している。</p> <p>・テーブル・椅子などは丸みを持たせることにより、自立した安全な生活が送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない